

| 冬季特別企画 |

2019.12.21|土| - 2020.1.19|日|
休館日=12/23、29、30、31、1/1、14

ちずであそぶ

●特別プログラム | 12/21(土)、22(日) 14:00~15:30

「ミチシルベ〜あちこちどっち」

自分の住んでいるところや行きたいところの看板をつかって、
その場所の方向に道しるべをつけていきます。

※アーティストの福永照久さんによるあそびのプログラムです。

●みんなであそぶプログラム | 毎日実施 11:30~12:30はお休み
1/7以降の平日は12:30~16:00

大人から子どもまでみんなであそぶプログラムです。

「頭つぶ?!」…粘土で頭の中の地図をつくります。

「たてマップ」…大きな地図にいろいろなものを建てます。

「わたしのちず」…私の周りのいろいろな地図を描きます。

「どこだ?どこだ?」…地図を手がかりにどこかを探します!?

●あつまるあそぶプログラム | 土・日・祝日 14:00~15:00、30分前受付

「ココ地図」…「心」や「音」などいろいろな地図をつくります。

●たべるあそぶプログラム | 日曜日 11:00~12:00、30分前受付、抽選6組

「あじ旅」…いろいろな味を求めて旅をします?!

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



道に迷ったり、知らない場所に行ったりするとき、
わたしたちは地図をみます。
紙や看板、最近ではスマホやカーナビなど、
いろいろな媒体の地図をみて
自分がある場所、行きたい場所、行った場所を知ることができます。

目にみえないものの地図もあります。
風、音、温度、高さなど、専門的に使われている地図や、
あるいは昔々、世界地図がまだなかった時代、
想像で世界の地図をつくった人々のように、
知らない場所、未知の世界の地図もあります。

また、自分の気持ちや
誰かとの関係なども地図にできるかもしれません。
生まれてから今まで、今からその先の未来へ、
自分がしてきたことやこれからすること、自分の周りを取り巻く様々な人たち、
色々なことを考えたり感じたりして自分の世界を思い描くとき、
その様子もまた色々な自分を指し示す地図にみえてきます。

地図をテーマにまわりを改めて見渡してみると、
様々なことが地図としてみえてきます。
愛知県児童総合センター全体を使って、
従来の地図だけにこだわらない、色々な形の地図のあそびを考えます。

2019.12.21|土| - 2020.1.19|日|
愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

時間=10:00~16:00
(開館時間は9:00~17:00)
休館日=12/23、29、30、31、1/1、14
入場料=中学生以下無料、その他300円

ちずであそぶ

主催=愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)

Aichi Children's Center

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol.

2019-20 冬 35

冬季特別企画

「ちずであそぶ」

特集 |

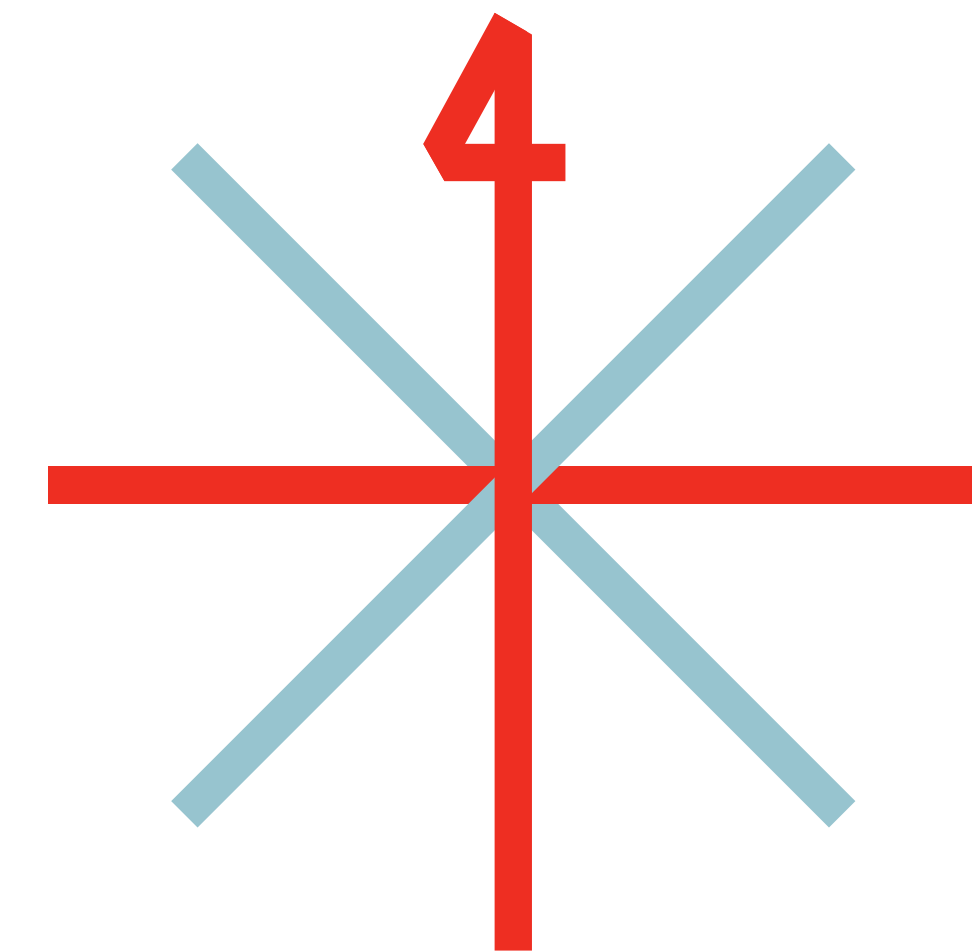
アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム
メディア実験室

特集 | 夏季特別企画

「ネイチャー・ワンダーランド2019
ネイチャワとつながる」

子育てのおはなし 第35話

募集とお知らせ



愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL 0561-63-1110
E-mail info@acc-aichi.org
https://www.acc-aichi.org/

開館時間=9:00~17:00
入場料=中学生以下無料、その他300円

12月の休館日=2、9、16、23、29、30、31日
1月の休館日=1、14、20、27日
2月の休館日=3、10、17、25日
3月の休館日=2、9、16、23日

公共交通 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で … リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車 車で … 東名高速・日進JCT 経由名古屋瀬戸道路長久手IC から
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)

Aichi Children's Center News Letter 2019-20 winter

編集・発行/愛知県児童総合センター(公益財団法人愛知公園協会)

愛知県児童総合センター

メディア実験室

企画・監修＝名古屋芸術大学芸術学部
芸術教養領域 茂登山清文
会期＝2019年9月7日(土)ー16日(月・祝)

愛知県児童総合センターではこれまで、「あそび」の領域を広げるためのさまざまな活動に積極的に取り組んできました。2018年には、これからの子どもとメディアと「あそび」について新たな指針を得ることを目的に、メディアや情報について総合的に研究をする大学等と連携した「メディア実験室」を設置しました。2年目を迎えた「メディア実験室」ではさらに進化したあそびプログラムを実験するとともに、子どもたちがより積極的にあそびの実験に関わる「子ども研究員」を募集しました。

感覚変容工房トランス+

人間の感覚をいつもとは異なる状態に変容させることで、普段とらえている世界像の知覚のされ方を多様化させる試みを行っています。愛知淑徳大学創造表現学部メディアプロデュース専攻に所属する村上泰介先生と、コンコルディア大学に所属するDavid Somiah Clark先生のふたりによる共同研究をもとに、それぞれが制作を進めています。



「幼年期の追慕」村上泰介



「SURÜ」David Somiah Clark

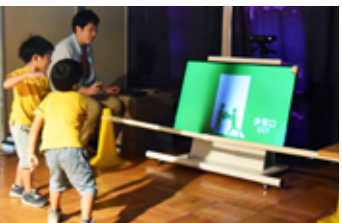


「ポットラック〜レッツクッキング〜」
愛知淑徳大学創造表現学部村上ゼミ

静岡理工科大学 情報学部情報 メディア設計研究室+α



「すけーる」定國伸吾

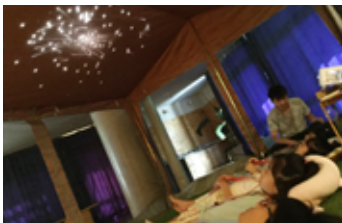


「はいっ!ピクト」113 Not Found



「まどのおもいで」113 Not Found

情報科学芸術大学院大学



「火星まで届け」渥美智也



「actionCanvas」桑畑幸千生



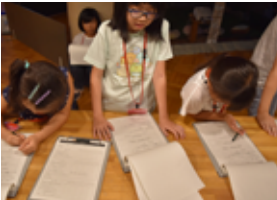
「からだdeバンド」星安澄

名古屋芸術大学芸術学部 芸術教養領域

「何者にもなれる君へ。」をキャッチフレーズに開設された芸術教養領域リベラルアーツコースは、ビジュアルとサウンド、情報ははじめとする5つのリテラシーを学び、社会の多様な問題に挑んでいます。「実験室」では、企画とデザイン、会場のディレクションを担当し、今年は学生とともにアーカイブの作成に取り組みます。

メディア実験室「子ども研究員」

あそびにひそむ魅力を、子どもたちの力を借りながら求めてみようという、これまでにない取り組みです。9月7日、15日の2日間、述べ31名の子どもの研究員が大学の研究室と一緒に「あそび」の実験に参加、研究結果を報告してもらいました。



夏季特別企画

ネイチャー ワンダーランド 2019

ネイチャワとつながる

今回の夏季特別企画「ネイチャー・ワンダーランド」は名古屋工業大学の石松文佳教授監修のもと、植物などの生き物だけでなく、土や水、空気や光など、身の回りの様々な自然に潜む不思議とその繋がり、自然の環を感じるようなあそびをたくさん用意しました。

● 特別展示



アーティストの石松文佳&名古屋工業大学環境とデザイン研究室の「ネイチャワとつながる」と「ぎゅうにゅう魚」は風(空気)の動きを感じます。

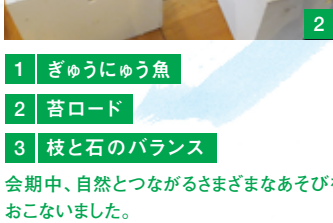


食してしぜんとつながるスペシャル



名古屋工業大学環境とデザイン研究室の学生たちと一緒に自然の中にある野草を食べてみました。※増田理子教授監修(名古屋工業大学)

● あつまるあそぶプログラム



1 ギゅうにゅう魚
2 苔ロード
3 枝と石のバランス

会期中、自然とつながるさまざまなあそびをおこないました。

● たべるあそぶプログラム



食してしぜんとつながる
米と小麦粉で棒状の生地をつくり朴葉でくるくと巻いて焼き、朴葉の香りを楽しみます。



令和元年度夏季特別企画として実施しました。



土のもり
天井から吊るしたロープに土の粘土をどんどんくっつけて大きな木をつくります。



枝と石
枝と石を組んだり並べたりして遊びます。



大きな石をみがく
大きな石を紙やすりでひたすら磨きます。



マイクロスコープで見よう
センターの周りにある葉っぱなどの自然物を採取して、マイクロスコープで拡大して見てみます。



ネイチャーワードハンティング
館内にある自然物でつくったアルファベットを探します。文字は事前に子どもたちにつくってもらいました。

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第35話

「しつけ」

募集とお知らせ

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが「一緒に」楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

12/4(水) 14:30～ はっぱであそぶ
12/11(水) 11:00～ はっぱであそぶ
1/15(水) 11:00～ …であそぶ
1/22(水) 14:30～ まるまるであそぶ
1/29(水) 11:00～ えがいてあそぶ
2/5(水) 14:30～ たべるあそぶ
2/12(水) 11:00～ 音であそぶ
2/19(水) 14:30～ えほんであそぶ
2/26(水) 14:30～ 土ねんどであそぶ

対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて

※受付開始時刻に参加希望者が定員以上の場合は抽選

「まるまるであそぶ」



※どのプログラムも参加費無料。ただし入場料が必要。(中学生以上無料。その他300円)

9か月の赤ちゃんのお母さんにお会いしました。離乳食についての相談の中で、こんな話がありました。子どもに離乳食を食べさせるとき、お母さんがスプーンで食べさせるのだけれど、子どもが自分の手を食べ物が入った口に入れてしまう、そして、その(汚れた)手でテーブルや服を触る、振り回す… そんな時、子どもの手を軽くたいて「ダメ」と言って「しつけ」をしているとのこと。そして「しつけ」というのはいつごろからするのだろうと述べられました。改めて「しつけ」ということを考えてしまいました。「しつけ」というのは、子どもたちに、周囲の人たちと折り合って生活をしていくのに必要な生活の技術を教えていくことです。食事やトイレやあいさつなどの生活の技術と、この世界には自分だけ

けではなくたくさんの人たちがいる、その人たちとなるべく気持ちよく暮らしていけるようなやりとりの技術を身に付けてもらうために行うことだと思います。決して子どもに「ダメ出し」をするのではなく、「しかる」ことでもありません。「こうするといいいんだよ」とゆつくり、時間や回数をかけて、技術を学んでもらう過程だと思います。子どもの発達や理解の度合いとのとても微妙なバランスのもとに行われていくことです。なかなか思うようには進まないものです。一進一退そのものです。イライラしてしまうこともあります。でも、イライラを子どもにぶつけることはなるべくしたくないですね。子どもの精一杯の抵抗を「そう来たか!」とどうぞ面白がって進んでいきますように。

あいちこどもクリエイティブクラブ 第4回 あそび実験室 「いろイロたんけん!」

身のまわりにあるいろいろな“色”を見つけて遊びます。ナビゲーターは元愛知県児童総合センター長の田嶋茂典さんです。

日時：2/9(日) 14:00～16:00
対象：小学生以上の子ども
※高校生はボランティアとして参加
定員：15名 参加費：無料

申込方法：
電話 0561-63-1110
メール accc@acc-aichi.org
参加者の氏名(ふりがな)、学年、性別、市町村、電話番号、メールアドレスをお知らせください。



お父さん応援プログラム 「アナログカフェ」

毎月第3日曜日だけオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもでボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。

日時：毎月第3日曜日13:30～15:30 随時参加
場所：2F「コラボラボ」
対象：小学生とその父親



12月～2月の 移動児童館・ゆめたま号

児童総合センターのあそびを「ゆめたま号」に乘せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人が一緒に遊べるプログラムです。あそびをとおして、たくさんの出会いを楽しみにしています。

実施機関：
12/3(火) 幸田町 上六栗子育て支援センター
12/24(火) 長久手市 下山児童館
1/11(土) みよし市 西一色児童館
1/24(金) 豊田市 山之手子育て支援センター
2/1(土) 小牧市 北里児童館
2/15(土) 犬山市 犬山南児童センター

※詳細については実施機関にお問い合わせください。

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。